



平成30年度9月補正予算の概要

福岡県





平成30年度9月補正予算のポイント

(単位:百万円)

1 予算編成 の考え方

- 平成30年7月豪雨で被災した商工業者・農林漁業者の支援、公共土木施設等の復旧
 昨年の九州北部豪雨で被災した道路、河川等の復旧を加速
- ブロック塀の安全確保をはじめとする防災減災
- 地域活性化

2 補正予算 の規模

区分	当初予算 A	9月補正予算 B	9月補正後予算 C=A+B
一般会計	1,732,549	28,436	1,760,985
特別会計	985,427	0	985,427
計	2,717,976	28,436	2,746,412

3 主な内容

項目	予算額	財源内訳			一般財源
		特定財源			
		国庫	県債	その他	
○ 豪雨災害復旧・復興	21,959	5,766	13,582	921	1,690
○ 防災減災	6,348	1,378	4,327	12	631
○ 地域活性化	129	62	51	10	6
合計	28,436	7,206	17,960	943	2,327



豪雨災害復旧・復興

平成30年7月豪雨災害

※ 平成30年7月豪雨災害関連施策における[当初予算活用]の表記
当初予算に計上し、今回の災害に活用している予算額を示し、9月補正予算の外数

■ 被災者の支援 [当初予算活用 2億4,068万8千円]

○ 被災者の応急救助、生活再建を支援

- ・ 災害救助法に基づき、避難所運営等の応急救助を実施
- ・ 県独自の災害見舞金や被災者生活再建支援金を支給、住宅再建融資に係る利子相当額を助成

■ 商工業者・農林漁業者の支援

○ 中小企業への金融支援を強化 207万円

- ・ 県制度融資に緊急特別融資枠を創設、被災企業の金利負担を軽減し、保証料を全額補てん

○ 小規模事業者の事業継続を支援 2,068万1千円

- ・ 被災した小規模事業者が取り組む新サービスの提供や商品開発等による販路開拓を支援

○ 観光地の風評被害を解消するとともに旅行需要を喚起 1億6,222万1千円【新規】

- ・ 県内の宿泊料金の割引を実施し、被災地域の周遊旅行を支援



<原鶴温泉>



<門司港レトロ地区>



<農業用ハウス>

○ 農林漁業者の事業継続を支援 11億5,447万3千円

- ・ 豪雨で被害を受けた農業の生産施設の復旧、機械の取得・修繕を支援
- ・ 被災した農林漁業者への金融支援のため、緊急特別融資枠を創設し、金利負担を軽減

○ 園芸産地の再生を支援 1億4,525万7千円

- ・ 果樹の改植、野菜・花きの種苗や土壌改良資材の購入等を支援

○ 被災地の農林水産物の販売を支援 417万7千円

- ・ 首都圏や福岡市内で被災地の農林水産物や加工品等の即売会を開催

○ 畜産農家の事業継続を支援 855万4千円

- ・ 豪雨で流失した自給用の牧草・ワラに代わる飼料の購入を支援

○ 内水面漁業の再生を支援 695万2千円

- ・ アユの卵やスイゼンジノリの元種を放流し、水産資源を回復

■ 公共土木施設等の復旧

○ 被災した道路や河川、施設などの復旧を加速化 97億3,534万2千円

[当初予算活用 53億6,996万5千円]

- ・ 道路や河川、砂防施設などの復旧 74億1,447万円
- ・ 農地や農業用施設、林道などの復旧 10億9,248万3千円
- ・ 農林業総合試験場など県有施設の復旧 11億9,944万5千円
- ・ 平成筑豊鉄道の復旧を支援 2,894万4千円



<河川の復旧>



<平成筑豊鉄道と被災路線の状況>



<冠水により被害を受けたコマツナ>



<農林水産物の即売会>

○ 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 64億3,340万3千円
[当初予算活用 15億938万9千円]

- ・ 河川の流下能力回復のための堆積土砂掘削、改良工事を計画する河川・砂防施設に係る調査 34億8,475万2千円
- ・ 土石流やがけ崩れが発生した箇所に砂防ダム等を設置 18億7,694万6千円
- ・ 崩壊した林地に治山施設を設置 9億7,170万5千円
- ・ 桂川流域の農地湛水対策のための事業計画を策定【新規】 1億円



<砂防ダム>

○ 被害拡大防止のため、流木撤去など応急対応を実施 17億4,634万6千円

平成29年7月九州北部豪雨災害

○ 被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進 25億3,993万4千円

- ・ 災害復旧と併せて行う河川の改良工事を実施 5億2,499万5千円
- ・ 被災した溪流、急傾斜地に砂防施設を設置 3億5,379万7千円
- ・ 改良工事を計画する河川・砂防施設に係る調査、災害復旧工事に伴う周辺の粉じん対策等 16億6,114万2千円



<進捗中の復旧工事>



防災減災

大阪府北部地震を踏まえたブロック塀の安全確保

○ 小中学校通学路の緊急点検を実施、撤去費助成制度を創設 1,906万8千円【新規】

- ・ 小中学校通学路の緊急点検を実施し、危険ブロック塀の撤去を指導
- ・ 倒壊の危険性がある塀所有者の自主的撤去を促進するため、撤去費助成制度を創設

○ 県立学校など県有施設の安全を確保 23億5,814万円【新規】

- ・ 基準不適合や劣化損傷が判明した県立学校、県営住宅等のブロック塀を撤去・改修
- ・ 外観に基づく緊急点検で問題がなかった箇所も、ブロック内部の点検を実施



<ブロック塀>

地域防災力の強化

○ 緊急輸送道路等を整備 25億8,478万4千円

- ・ 緊急輸送道路を整備、橋りょうの老朽化対策工事等を実施



<メッシュフェンス(改修後イメージ)>

○ 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 13億8,504万円

- ・ 河川の護岸を整備、砂防施設を設置 6億9,151万5千円
- ・ 港湾施設の老朽化対策工事を実施、高潮対策のための護岸を整備 6億9,352万5千円



<緊急輸送道路の整備>



地 域 活 性 化

○ 久留米スポーツセンター陸上競技場について、快適な利用環境の整備に着手 2,827万3千円

- ・ 国内外のトップアスリートから観客・スタッフまで、全ての利用者が快適に利用できるよう、ロッカー・シャワー室等のバリアフリー化、トイレの洋式化などの改修に着手



○ 中小企業の新製品開発支援機能を強化 6,199万2千円

- ・ 県工業技術センターに高精度3D形状測定機を設置



<高精度3D形状測定機のイメージ>

○ 資源の循環利用を推進 998万5千円【新規】

- ・ 冷凍冷蔵設備を修理し、スーパーの店舗間で再利用することによるCO2削減効果の実証試験を実施